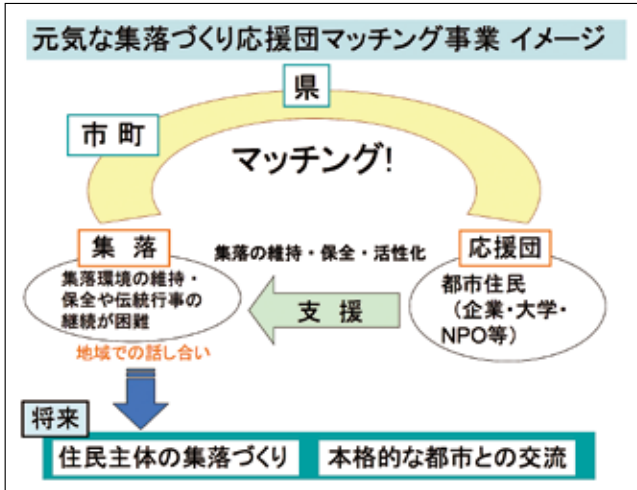


「元気な集落づくり応援団 マッチング事業」について

はじめに

愛媛県では、急速な人口減少と高齢化により社会的な共同生活の維持が困難な状況におかれている集落の維持・活性化を図るため、平成21年度より集落対策の取組みを積極的に進めています。



今回はその一環として平成22年度から実施している「元気な集落づくり応援団マッチング事業」についてご紹介します。

「元気な集落づくり応援団 マッチング事業」とは？

元気な集落づくり応援団マッチング事業は、急速な高齢化や人口減少などにより清掃活動や伝統行事など地域の共同活動に支障をきたしている集落からの要望をうけ、都市部の企業・NPO・大学などから構成される「応援団」がそれらのお手伝いをする事で、集落住民と都市住民の交流の促進を図るものです。

この事業では、単に都市住民による一時的なボランティア活動による支援で終わることなく、集落自身で住民主体の集落づくりを進めていくとともに、都市との本格的な交流を図るための契機とすることを考えています。

そのため、申請に当たっては、まず住民の皆さんが、まず自らの集落の課題・困りごとや今後の方向性について話し合っていたいただき、①自分たちでできること、②行政に頼むこと、③応援を依頼することに整理したう

えで、③の「応援を依頼することになれば、必要書類を提出していただくこと」としていきます。

応援内容については、明らかな営業活動・宗教活動・政治活動などは認められませんが、その他は特段応援内容の限定はしていませんので、集会所の清掃や地域のお祭りの準備など地域の共同作業等を対象とした人的支援であれば、広くご活用していただくことが可能です。

報酬や交通費の負担についての質問がよ



大洲市岩谷地区で夜神楽舞台の設営 (H23.8)

愛媛県企画振興部
地域政策課 主事
川上 修一

また、西条市大保木地区の地区運動会では、総勢34名の応援団が、準備や運営のサポートだけでなく、競技にも住民と一緒に参加し、運動会を盛り上げました。準備段階では、前日の雨によりできたグラウンドの水



は、地域
の伝統行事「山鳥坂夜神楽」の開催
は、地域
の伝統行事「山鳥坂夜神楽」の開催
は、地域
の伝統行事「山鳥坂夜神楽」の開催

く聞かれるところですが、この活動はあくまでもボランティアなので、報酬は必要ありません。また、交通費に關しても原則応援団側で負担することとしています。
また、「応援団」については、愛媛県内に事業所を置く各種企業を中心に32団体（平成24年6月1日現在）が登録しており、引き続き募集も行っています。応援可能な地域や内容も選べますので、ぜひ応援団としての御協力もお願いします。

活用事例

前述のとおり、応援内容については、幅広く活用できるようにしており、河川や海岸の清掃ボランティアだけでなく、県内各地で様々な形の支援がされています。
例えば、これまで大洲市麻川町岩谷地区では、地域の伝統行事「山鳥坂夜神楽」の開催準備を、伊予市佐礼谷地区では地元のお祭り「さだだにきてみん祭」の運営の手伝いをそれぞれ手伝わせていただきました。



大洲市岩谷地区での応援団の皆さん (H23.8)

溜りをバケツや雑巾で排水するなど、ご苦労されたようですが、一緒に汗を流したことでその後の交流会も盛り上がり、地元住民と応援団との交流が深まったと聞いています。
さらに、今年6月には、今年度初のマッチング事業として、上島町高井神島で草刈を行ったところですが、集落の皆さんからは「高齢化が進み、斜面などの草刈が難しくなっているので、年一回でも来てもらえるのはありがたい」など感謝のお言葉をいただきました。

溜りをバケツや雑巾で排水するなど、ご苦労されたようですが、一緒に汗を流したことでその後の交流会も盛り上がり、地元住民と応援団との交流が深まったと聞いています。



上島町高井神島で清掃活動 (H24.6)

また、西条市大保木地区の地区運動会では、総勢34名の応援団が、準備や運営のサポートだけでなく、競技にも住民と一緒に参加し、運動会を盛り上げました。準備段階では、前日の雨によりできたグラウンドの水

は、地域
の伝統行事「山鳥坂夜神楽」の開催
は、地域
の伝統行事「山鳥坂夜神楽」の開催
は、地域
の伝統行事「山鳥坂夜神楽」の開催

く聞かれるところですが、この活動はあくまでもボランティアなので、報酬は必要ありません。また、交通費に關しても原則応援団側で負担することとしています。
また、「応援団」については、愛媛県内に事業所を置く各種企業を中心に32団体（平成24年6月1日現在）が登録しており、引き続き募集も行っています。応援可能な地域や内容も選べますので、ぜひ応援団としての御協力もお願いします。

現状の課題と展望

元気な集落づくり応援団マッチング事業実績は、平成22年度11回、23年度6回と伸び悩んでおり、残念なことに申請数が応援団のやる気に応えられていないのが現状です。
このことから、今年度、県では新聞や市町の広報誌へ宣伝広告を掲載するなど、情報発信を強化するとともに、支援を必要とする集落の掘り起こしを図っているところです。
本来は、県のマッチングを必要とせず、都市住民と支援を必要とする集落の交流が自然発生することが理想ですが、それには何かのきっかけがないと難しいかと思えます。
まずは、多くの皆さんに「元気な集落づくり応援団マッチング事業」のことを知っていただき、今一度、ご自分の地域が抱えている問題・課題を見直すとともに、自分たちの描く地域の理想像とは何か、理想像に近づけるには何か必要かを住民の皆さん自らで考えていただきたいと思います。

そして、この応援団派遣を少しでも多くの地域の助けにしていいただき、都市部の皆さんと地域の皆さんとの交流が県内全体に広がり、地域の活性化につながっていくことを期待しています。
応援団の派遣を希望する場合は、お気軽に市町の地域振興窓口へ御連絡ください。